

建装土木
シリーズ

可撓性エポキシコーティング材・ 接着剤

セメダインEP-90

2液常温硬化形・可撓性エポキシ樹脂系充てん材
(グリース状)

セメダインEP-90は、エポキシ樹脂のもつすぐれた高強度接着力、耐水性、耐薬品性をそのまま生かしながら、ゴム弾性を付与させた不定形可撓性コーティング材です。耐久力のある目地材として使用できる他、熱膨張率の異なる各種材料の接着や衝撃吸収接着用としても、高機能を発揮します。

低温時の混合充てん性・ヘラ切れ性にすぐれ、高温時でもダレがない作業性のよい可撓性コーティング材です。

したがって、建築土木分野のコンクリート軸体に発生する収縮クラック・外壁モルタルの亀裂充てん・誘発目地の充てん用として、また隧道・U字溝・コンクリート2次製品の止水継目充てんのための土木用目地材としても、すぐれた防水・止水効果を存分に発揮します。

■特長

1. 作業性が抜群により

- 混合しやすい

グリース状で低温時（5°C）でも混合かく拌しやすく、作業がスムーズに運びます。

- 施工しやすい

コーティングガンで容易に施工でき、ヘラ押え、表面仕上げが円滑にできます。

- ダれない

夏季高温時（30°C）に施工しても、ダレが発生せず、目地周辺を汚染しません。

2. 高可撓性である

硬化に際して収縮がなく、膨張・伸縮・衝撃・水圧に耐え、軸体の挙動に追従します。

3. 各種材料に密着力が高い

コンクリート・モルタル・鋼板の他、硬質塩ビ・FRP・木材に対して密着力にすぐれます。

4. シール効果が大きい

気体、液体に対して不透過性で、シール効果が大きい。

5. 耐薬品性にすぐれる

耐候性、耐薬品性、熱老化性にとみ防水効果が大きい。

6. 塗料との相容性が良好である

■用途

建築

1. 外壁クラックの補修用シール
 2. 誘発目地の充てんシール
 3. PCコンクリートの伸縮目地
 4. コンクリート構造物の間隙充てん
- 土木
5. プール・コンクリート槽の目地充てん
 6. 金属接合部（シールド目地）の充てん
 7. 隧道・U字溝の打継・クラック・ジョイント目地
 8. コンクリート舗装欠損補修・打継目地充てん

■使用法

1. 下地処理

コンクリート・モルタル・金属・タイルなど充てん部位のレイタンス、ゴミ、油脂分、錆、塗料を充分に除去してください。

湿潤面はウエスでぬぐいとり、できる限り乾燥した面にしてください。

湧水なし圧力水のある部位へは急結セメントなどによる導水口造成以外、使用できません。

2. プライマー塗付

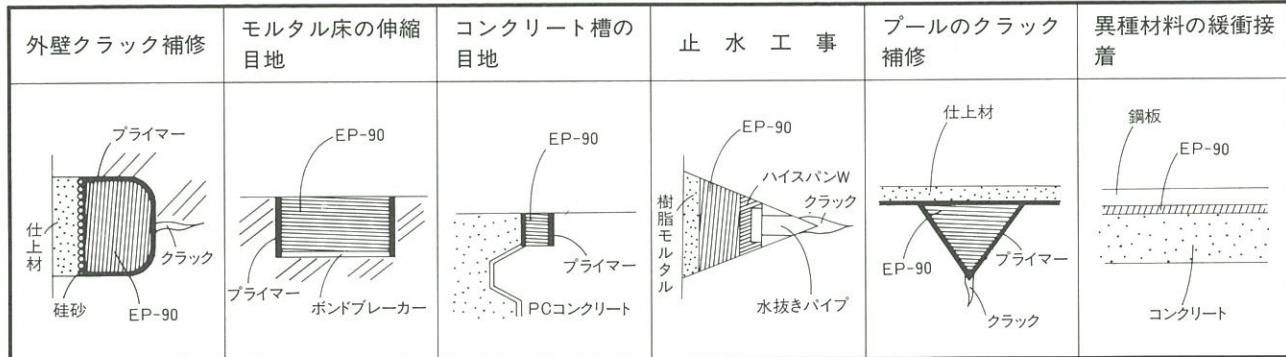
湿潤面には必ずプライマーとして、セメダイインEP-30を塗付してください。

乾燥面の場合、密着力を向上させるためにEPプライマーを適用ください。

3. 配合

A（主剤）とB（硬化剤）を必ず1:1の重量比割合で取り出し、コテ・ヘラで色が均一になるまで充分混練りしてください。

■施工例



■設計使用量

目地幅	目地深さ	5mm	10mm	15mm	20mm	25mm	30mm
5mm	35						
10mm	70	140					
15mm	105	210	315				
20mm		280	420	560			
25mm			525	700	875		
30mm				840	1,050	1,260	

(ロスを含まない場合の1m当たりの使用量:g)

■性状

項 目	セメダイインEP-90	
	主 剂	硬 化 剂
外 観	白色グリス状	グレー色グリス状
不 振 発 分 (%)	92.1	95.3
密 度 (23°C/23°C)	1.42	1.40
粘 度 (Pa·S/23°C)	636	1,320
混合時粘度 (Pa·S/23°C)	804	
標準混合比 (主/硬)	1/1	
可 使 時 間	20°C 20分	60分
1 kg 混 合 時	30°C 35分	
初期硬化時間	20°C 18時間	
スランプ (JIS 5758)	0/50°C	

■ 物性

1. フィルムの引張り強さ

促進環境 試験条件	引っ張り強さHB [N/mm ²]	伸びTB (%)	硬度 (A型)
標準状態 20°C × 14日	6.0	43	85
熱老化 80°C × 7日	11.6	42	93
水浸漬 20°C水 × 7日	4.4	99	82

但し、JIS K 6301〔加硫ゴム物理試験方法〕に準ずる。引張り速度：300mm/分

2. H型引張り強さ

促進環境 試験条件	H型引っ張り強さ [N/mm ²]	
	モルタル同士	アルミ同士
標準状態 (20°C × 14日)	3.1 ※80 (伸び32%)	2.5 cf 70 (伸び61%)
冷熱繰り返し 7サイクル	2.3 ※70 (伸び25%)	
高温高湿50°C 95%RH 7日	1.5 cf (伸び22%)	
熱老化 50°C × 7日	3.5 ※10 (伸び23%)	
50°C 温水浸漬×7日	1.0 af 90 (伸び19%)	
湿潤状態 20°C × 7日	2.4 ※10 (伸び27%)	—

但し、※：モルタルの材破、cf：接着剤の凝集破壊、af：被着体での界面破壊、引っ張り速さ：50mm/分

3. 経時による引張りせん断強さ・T型剥離強さと硬度

硬化条件	引っ張りせん断強さ [N/mm ²]	T型剥離強さ [N/25mm幅]	硬度 (A型)
20°C × 1日後	1.0 af 100	12.7 cf	8
20°C × 2日後	2.0 cf 20	20.6 cf	57
20°C × 3日後	3.1 cf 40	33.3 cf	65
20°C × 7日後	4.6 cf	49.0 cf	81

但し、引っ張りせん断強さ軟鋼板 (25×100×1.6mm)、T型剥離強さ：軟鋼板 (25×150×0.5mm)

4. 混合比による接着強さ

混合比 (主/硬)	引っ張りせん断強さ [N/mm ²]	T型剥離強さ [N/25mm幅]	硬度 (D型)
100/60	2.0 af	25.5 cf	28
100/80	4.1 cf	43.1 cf	40
100/90	4.4 cf	40.2 cf	40
100/100	4.4 cf	45.1 cf	40
100/110	4.0 cf	38.2 cf	30
100/120	3.5 cf	35.3 cf	30
100/140	2.2 cf	28.4 cf	20

但し、cf：接着剤の凝集破壊、af：被着体での界面破壊、引っ張りせん断強さ：JIS K 6850

5. 各種材料に対する接着強度 (20°C / 7日間)

被着体	厚み (mm)	処理	強度 [N/mm ²]	被着体	厚み (mm)	処理	強度 [N/mm ²]
軟鋼板 SPCC	1.6	a	4.4 cf 70	硬質塩ビ	3.0	b	3.1 cf 70
ステンレススチール	1.5	a	3.2 af	ポリカーボネート	3.0	b	0.9 af
ブリキ板	0.3	a	2.7 af	F R P	3.1	b	3.7 cf
アルマイト処理AI	2.0	a	4.3 cf	カバ材	5.0	b	3.5 cf
塩ビ鋼板	0.6	a	3.6 cf	ポリエチレン	2.0	b	0.4 af
ポンデ処理鋼板	1.2	a	2.9 af	A B S	3.0	b	3.1 cf

但し、cf：接着剤の凝集破壊、af：被着体での界面破壊、a：MEK脱脂、b：無処理、引っ張り速さ：2mm/分

■耐薬品性 (重量増加率: JIS K 7114に準ず)

浸漬液	重量増加率(%)	状態観察
蒸留水	0.76	変化なし
5%食塩水	0.63	変化なし
10%アンモニア水	0.83	変化なし
10%カ性ソーダ水溶液	3.57	僅かにフクレ
10%硫酸	13.2	僅かにフクレ
10%塩酸	14.3	僅かにフクレ
10%硝酸	0.59	僅かにフクレ黄変
10%酢酸	1.34	僅かに黄変
ケロシン	5.19	変化なし
出水ダフニーオイル	3.25	変化なし

■注意

- A(主剤)・B(硬化剤)の配合は、可使時間内に使用できる量としてください。
- 作業衣・器具類に付着した樹脂は、硬化する前にシンナーで拭きとってください。
- 皮膚に直接触れると体质によってはカブれることがあります。付着した場合は、直ちに石けん水で洗い落してください。
- 低温(5°C以下)時や屋外雨天現場での施工は硬化不良の原因となりやすいので、充分ご留意ください。
- 使用後は容器のフタ(A・Bのフタを間違えない)を充分しめ、冷暗所に保存してください。

■容量規格

10kgセット (A:5kg、B:5kg)

お客さまへ

※カタログに記載の仕様および外観は改良のため、お客様に予告無く変更する場合がありますので、あらかじめご了承下さい。
※カタログに記載のデータや各種事項は当社の信頼する代表的な実験値や調査によるもので、保証値ではありません。
※ご使用に当たっては、必ず事前に、本製品がお客様の使用する目的・用途・条件に適合するか否かを、お客様ご自身で責任を持ってご判断の上、ご使用下さい。
※特に、直接、光と熱の複合的な環境に継続的に暴露されることが想定される用途におきましては、接着剤の適合性を適切に評価・判断して下さい。
※売主および製造者の責任は、不良が証明された場合の製品の交換であり、付帯する事項すべてを保証するものではありません。

お求めは

セメダイン株式会社

東京事業所 〒141-8620 東京都品川区大崎1-11-2 ☎(03)6421-7275

ゲートシティ大崎イーストタワー

大阪事業所 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-16-10 ☎(06)4964-5330

名古屋事業所 〒464-0026 名古屋市千種区井上町34 ☎(052)781-3166

札幌営業所 ☎(011)271-4929 仙台営業所 ☎(022)287-3611 福岡営業所 ☎(092)273-2070

(http://www.cemedine.co.jp/)

商品に関してのお問い合わせ先：接着技術相談センター

☎ 0120-58-4929 (土曜日・休日を除く10:00~12:00、13:00~17:00)